



1_4月完成に向けて整備が進む多目的広場 2、3_阿武隈川沿いでカヌーやキャンプを楽しめます

阿武隈川河川敷の多目的広場「ピーチリバー157」に愛称決定

この度、4月完成に向けて、阿武隈川河川敷で整備している多目的広場の愛称が「ピーチリバー157」に決定しました。

皆さんから寄せられた応募総数218作品の中から、広場の状況をイメージさせる「ピーチ（桃）」と「リバー（川・リバー）」と公園・パークを組み合わせた造語に「157（阿武隈川源流から広場までの距離）」を組み合わせ、愛称が選ばれました。

歴史観光機能基本構想 機能充実に向けて意見交換

町は、福島県沖地震により被災した種徳美術館機能の復旧・充実に向け、旧伊達郡役所周辺を歴史文化エリアの拠点とする「歴史観光機能基本構想中間報告」を取りまとめました。文化財や商業、都市計画、町民代表など、町の各分野の代

表者による意見交換会が2月8日、役場で行われ、構想に対する妥当性や必要性について、活発に意見が交換されました。同月18日には、周辺町内会長へ内容を説明しました。今後も歴史的資源を活かし、交流人口拡大につなげていきます。



▶施設のあり方について有識者から意見が寄せられました

再エネ導入推進計画を策定 脱炭素社会を目指して

町では、地域特性に合った再生可能エネルギーの導入の方向性を示す「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画」を今年度中に策定する方針で準備を進めています。これに伴い、第5回目の有識者会議が2月24日、役場で開かれ、小沢

喜仁委員長（福島大学特任教授）を中心に、導入推進計画書案について、意見交換を行いました。委員からは、民間活力の導入の必要性や企業との情報の共有化など、多様な意見が出されました。今後は、意見を参考に計画書を作成します。

内堀福島県知事が来町 町の施策について意見交換

内堀雅雄県知事と高橋宣博町長の意見交換会が2月2日、役場で行われました。

丸となり乗り越えていくことを確認し合いました。続いて、町総合計画に基づく今後のまちづくりの方向性や献上桃産地指定の御礼、伊達崎橋の架け替え、特別支援教育支援員や不登校対応の支援員に関する財政支援の要望などを行いました。



▶新町総合計画にも掲げたSDGsを県民一丸となって推進

オミクロン株感染拡大 ワクチン3回目接種開始

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、町は2月4日、65歳以上の高齢者を対象に接種を始めました。保健福祉センター「やすらぎ園」をはじめ、町内の医療機関を会場に、2月末現在で、約2,900人が接種を受けました。

接種を終えた人は「同居する家族のためにも、感染するリスクを考えて接種した。3回目を受けることができてひとまず安心」と話しました。5歳から11歳までの子どもを対象にした接種については、3月上旬から開始する予定です。



▶いただいた寄附金は、教育をはじめ、町政各般にわたり活用しています

ふるさと納税、多くの寄附に感謝 寄附額が初めて1億円を突破

令和3年（4月から12月まで）のふるさと納税は、令和2年度実績の95,443千円（5,015件）を上回る105,588千円（5,722件）ものの寄附をいただきました。

皆さんへの応援を力に、さらなる町の発展に努めていきます。令和3年度にふるさと納税を活用した主な事業（百万円以上の事業）は次の通りです。

事業の種類	活用事業	充当額
教育	学校給食費半額助成事業	19,000千円
教育	学校ICT（電子黒板など配置）事業	12,250千円
教育	入学祝い制服事業	4,900千円
災害復旧	福島県沖地震災害廃棄物処理事業	2,139千円
保健衛生	インフルエンザなど予防接種助成事業	2,100千円
農業振興	市民農園運営事業	1,000千円

幼稚園児・小中学生に制服贈呈 ピカピカの制服に笑顔

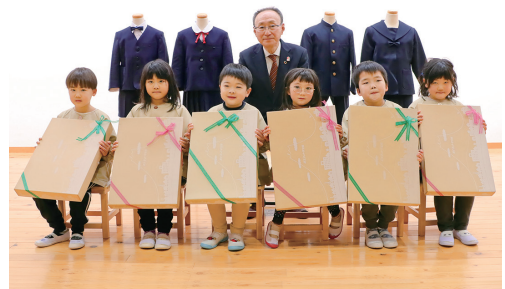
町は、令和4年度新入園児および新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の制服を贈呈しました。

これは、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や学校の生活を送ってほしいという思いと、入学時

における経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しています。

2月17日には、醸芳幼稚園で贈呈式が行われました。園児らは高橋町長から制服を受け取ると、「ありがとうございます。小学校でも頑張ります」と笑顔で答えました。

▶小学校生活に期待を膨らませて、制服を受け取る代表園児



▶役場でも積極的にSDGsに取り組んでいきます



SDGsアイコンパネル作製 SDGsをもっと身近に

町では、SDGsの浸透啓発を目的として、17の目標のアイコンパネルを作製しました。今後各種事業で展示するなど、事業や日常の活動がどの目標に関係するのか「見える化」し、SDGsをより身近なものとして感じてもらえるように活用

していきます。

また、3月26日には、全町を挙げたSDGsの推進を目的とした「町SDGs推進町民会議」が発足され、設立総会のほか、ラジオパーソナリティーの藤原カズヒロさんらによるトークショーも開催されます。

小・中学校各種コンクール・大会 受賞者の功績をたたえて

令和3年度に行われた各種コンクールや大会において、町内の児童生徒が優秀な成績を収めました。

受賞した皆さんを紹介いたします（敬称略）。

▽福島県小学生陸上競技交流大会女子コンバインドB・優勝・佐藤真帆（醸芳小6年）▽花いっぱいコンクール・知事賞・八巻大成（醸芳小6年・飼育栽培委員会委員長）▽福島県読書感想文コンクール・準特選・岡崎陽莉（睦合小5年）▽福島県小学校児童画展・児童画展賞、福島県たなばた展・奨励賞、福島県書きぞめ展・書きぞめ奨励賞・阿部琴音（半田醸芳小2年）▽「家族の健康」作文コンクール・福島県議会賞・岡崎悠汰（醸芳中3年）▽中学生作文コンクール・都道府県別賞福島県3等・阿部ちづる（醸芳中3年）▽中学生作文コンクール・福島県佳作、福島県書きぞめ展・書きぞめ賞・佐藤詩音（醸芳中3年）▽福島県書きぞめ展・書きぞめ奨励賞・佐藤心美（醸芳中1年）▽福島県地域安全標語コンクール・佳作・蓬田瑛輝（醸芳中2年）▽福島県地域安全作文コンクール・佳作・角館慧悟（醸芳中3年）



▲花いっぱいコンクールの受賞報告のため、役場を訪れた醸芳小の高野孝男校長と丹治恵美教諭